



2025年には、認知症患者が700万人を超える？

編集長推薦図書
良書案内

急速に進む高齢化に伴い、認知症は他人事ではなく、身近な問題となってきました。厚労省の推計によると、2025年には、全国で認知症を患う人の数が700万人を超えるとのこと。65歳以上の高齢者（2025年の推計3,657万人）のうち、5人に1人が認知症になるという計算です。すでに2012年の段階で、認知症高齢者は約462万人との推計が出ていますから、10年ちょっとで1.5倍以上に増えることになりそうです。

認知症というと、どこにもなく歩き回る「徘徊」のイメージが真っ先に思い浮かぶ人も多いと思います。防災無線などで「〇〇さん、△△歳が行方不明になっています。服装は緑のジャージにサンダル、髪は白髪で黒縁の眼鏡をかけています。お心当たりの人はお近くの交番または〇〇までご連絡ください」というような放送を聞いたことのある人もいるでしょう。

実際、認知症による（あるいは認知症が疑われる）行方不明者は増えていて、警察庁の発表によると2015年度は全国で12,000人を超え、3年連続で1万人を超え続けています。大抵の徘徊者は見つかるそうですが、一部は行方が不明のままです。徘徊中の事故なども社会問題になっています。認知症の男性が起こした鉄道

事故に対し、鉄道会社が振替輸送費等の損害賠償を請求する訴訟を起こし、最高裁まで争われたことは、記憶に新しいでしょう。最高裁では、認知症男性の遺族の責任を否定、遺族側が勝訴しましたが、責任能力のない人が起こした事故の損害を誰がどのように分担するかは、今後の課題となっていきます。

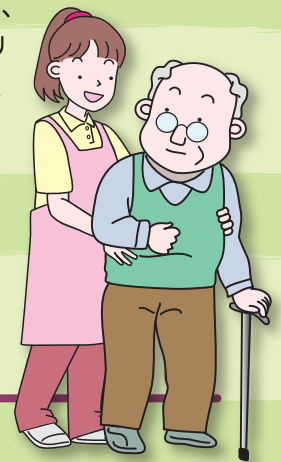
実は、徘徊については、「その人なりの理由がある」と言われています。はたからは、あてどもなく歩いているように思われますが、本人にとっては歩き始めは目的があつたこと。たとえば、トイレなど目的の場所があつたのにわからなくなって探しているなどの場合があります。単に訳もわからず歩いていると頭ごなしに決めつけてしまうのではなく、歩いている理由や本人の感じている世界を理解しようと努めることは、対応への第一歩となります。

施設などで「家に帰る」と言って、出て行ってしまふ「帰宅願望」もよく知られています。自宅で暮らしている場合にも起きることがありますが、帰宅願望の背後には「ここは自分の居場所ではない」という本人の気持ちがあるようです。認知症の人は時間や場所の把握が難しく、自分が何故今ここにいるのか、わからなくなることがあります。そうすると、その場所は居心地が

悪く、不安だから心落ち着く場所に行きたいという思いが生じます。これは、私たちにも理解できる感情でしょう。

徘徊や妄想などのように、認知症のために起こる困った行動を「周辺症状」、または「BPSD」と言います。直前の出来事がまったく覚えていない記憶障害や、自分の今いる場所や時間がわからなくなる見当識障害などの中核症状は改善が難しいのですが、BPSDはケアの影響を大きく受け、ケアで改善や予防が可能だと言われています。徘徊などの行動が起きて、家庭でも適切なケアと医療によって改善し、穏やかな在宅生活を送ることができるのです。

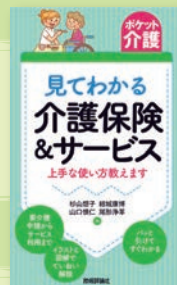
では、適切なケアとは何でしょうか？
まず、認知症の人とうまくコミュニケーションすることです。認知症の人は、物事を理解するのが難しくなっているので、意思の疎通にとっても時間がかかるからです。コミュニケーションにはいくつかのコツがあります。『認知症ケアのコツ』には、認知症の人とのコミュニケーションを始め、認知症のチェックリストや薬について、長年の認知症ケアで培ってきた現場のノウハウがわかりやすく書かれています。是非ご一読ください。



ポケット介護シリーズラインナップ



ポケット介護
楽になる認知症ケアのコツ
山口晴保, 田中志子 ● 編
大誠会認知症サポートチーム ● 著
新書判・256ページ
定価(本体1,380円+税)
ISBN978-4-7741-7653-6



ポケット介護
見てわかる介護保険&サービス 上手な使い方教えます
杉山想子, 結城康博, 山口慎仁, 尾形浄革 ● 著
新書判・200ページ
定価(本体1,380円+税)
ISBN978-4-7741-8032-8



ポケット介護
見てわかる介護のキーワード
ケアワーク・サポーターズ ● 著
新書判・224ページ
定価(本体1,380円+税)
ISBN978-4-7741-7939-1



ポケット介護
現場で使えるコミュニケーションのコツ
吉田輝美 ● 著
新書判・192ページ
定価(本体1,380円+税)
ISBN978-4-7741-7652-9



年末年始に星空探索しよう!

2016年も残すところあとわずか。

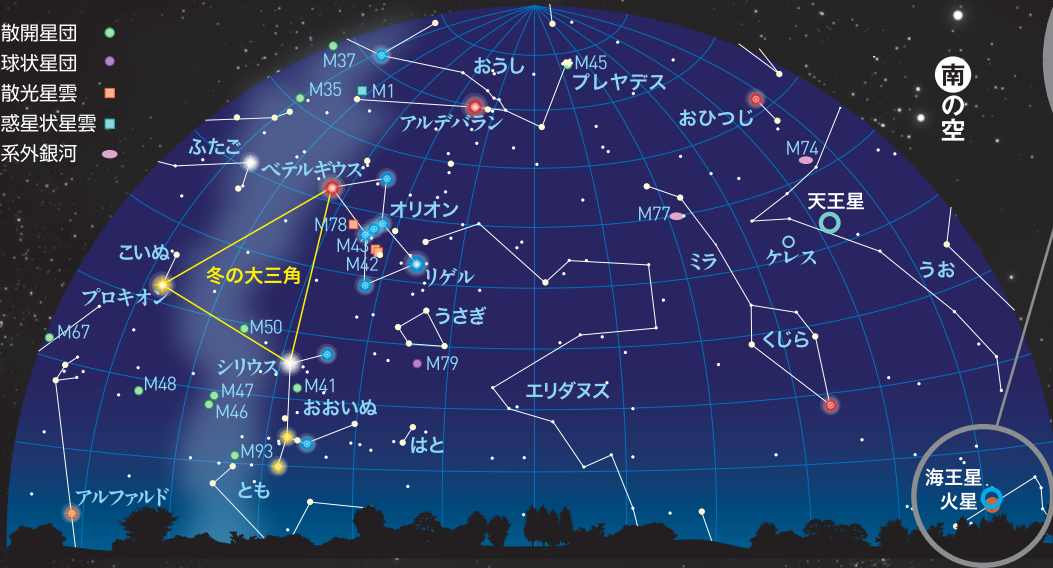
「天体観測手帳」を片手に年末年始の星空のイベントを楽しみませんか?

1 2017年1月1日 日没直後の南の空で 火星と海王星が大接近!

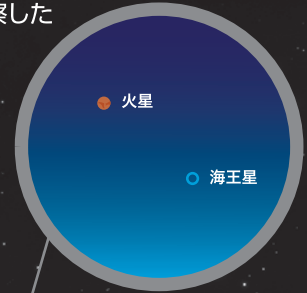
2017年1月1日火星と海王星が大接近します。
日本では日没直後の南西の空で観察できます。
望遠鏡を使うと、下の丸囲みの中のように見えます。

2016年12月31日 21時 東京の星空

- 散開星団 ●
- 球状星団 ○
- 散光星雲 ■
- 惑星状星雲 □
- 系外銀河 ◆



望遠鏡で観察した
イメージ



南の空

冬の大きな三角とは

星空の南東の恒星のうち、1等星のおおいぬ座α星シリウス、こいぬ座α星プロキオン、オリオン座α星ベテルギウスを頂点とする三角形を冬の大きな三角といいます。三角形の中を淡い天の川が縦断しています。

2 2017年1月1日 全国主要都市での 初日の出の時間

下の表は、2017年1月1日の全国の初日の出、日の入り時刻です。
日の出とは、太陽の上端が地平線に接した瞬間をいいます。
標高が高いと日の出は早くなります。

都市	日の出	日の入	都市	日の出	日の入	都市	日の出	日の入
札幌	7:06	16:11	富山	7:03	16:47	京都	7:05	16:57
旭川	7:04	16:04	宇都宮	6:52	16:36	大阪	7:05	16:59
釧路	6:53	15:59	水戸	6:49	16:34	岡山	7:11	17:05
稚内	7:13	16:01	前橋	6:55	16:40	広島	7:16	17:12
青森	7:01	16:21	東京	6:50	16:39	山口	7:20	17:16
秋田	7:00	16:27	甲府	6:55	16:44	松江	7:17	17:07
盛岡	6:56	16:22	長野	6:59	16:43	鳥取	7:12	17:02
仙台	6:53	16:28	静岡	6:54	16:47	高知	7:10	17:10
福島	6:53	16:31	名古屋	7:00	16:52	松山	7:13	17:12
新潟	6:59	16:36	津	7:01	16:55	徳島	7:07	17:04
						福岡	7:23	17:22
						佐賀	7:22	17:24
						長崎	7:22	17:26
						大分	7:17	17:18
						熊本	7:19	17:23
						宮崎	7:14	17:22
						鹿児島	7:17	17:27
						那覇	7:17	17:50



やさしい天文学入門
星空案内人になろう!

柴田晋平◎著

四六判 / 272ページ
定価(本体1,580円+税)
ISBN978-4-7741-3197-9



天体観測手帳を120%楽しむ
星空の教科書

12月発売予定

早水 勉◎著

A5判 / 272ページ
定価(本体1,480円+税)



毎週・毎月の星空が
フルカラーで楽しめる!

天体観測手帳2017

早水 勉◎著

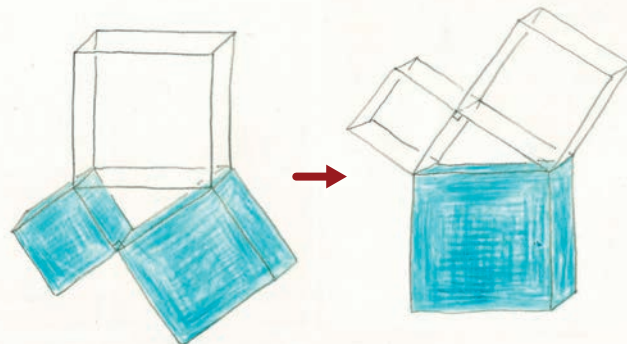
A6判 / 288ページ
定価(本体1,280円+税)
ISBN978-4-7741-8330-5

瀬山士郎先生の 数学よもやま話

連載② 数学を目で見る

数学は抽象的な学問である。多くの定理の面白さは記号の中に凝縮されて入っていて、それを楽しみ理解するためには、一定程度の想像力を必要とする。いや、もしかしたら最大限の想像力を必要とする。しかし、いくつかの有名な定理の中には、記号ではなく具体物でその成立を実感できるものがある。それらは現実に、初等数学教育の中で教具という形で実現されているものも多い。たとえば、ピタゴラス水槽という仕掛けがある。ピタゴラスの定理（三平方の定理）の各辺上の正方形が水槽になっていて、下側にある直角を挟む2辺上の2つの正方形の中に着色された水が入っている。それを上下入れ替えると、その水は隙間を流れて、斜辺上の大きな正方形の中にきれいに納まる。もちろん、これは証明ではない。しかしピタゴラスの定理が成り立つことが見事に実感できる。

解析学の「ホットケーキ定理」は、2次元平面上の2つの有界領域の面積を同時に2等分する一直線が存在するという定理で、中間値の定理の応用として有名である。この定理はn次元に一般化でき、証明には現代幾何学であるトポロジーが活躍するが、2次元の場合もっと初等的な証明がある。この定理をある講座で紹介



ピタゴラス水槽

介したとき、実際に目で見てこの直線の存在を確かめられる教具を作った。もちろん手作りでたいしたものではなかったが、その後、同じアイデアの教具をプロの教具作りの達人に注文した。ほどなくして、立派な教具が届いた。実際に目で見て、2つの有界領域（2つのホットケーキ）を同時に2等分する一直線（同時に2等分する切り分け方）の存在を確かめることができる。この教具を使って、ある高校で「ホットケーキ定理」の講義をしたことがある。高校生たちは見事にこの定理の核心部分を理解してくれたのだ。実感は素晴らしい。

profile

瀬山士郎（せやま しろう）

1946年群馬県生まれ。1970年東京教育大学大学院理学研究科終了。専門は位相幾何学、グラフ理論。1970年群馬大学教員となり、2011年定年退職。群馬大学名誉教授。数学教育協議会会員。

主な著書に「バナッハ・タルスキの密室」（日本評論社、2013年）、「読む数学」（角川ソフィア文庫、2014年）、「はじめての現代数学」（ハヤカワ文庫、2009年）、「幾何物語」（ちくま学芸文庫、2007年）「無限と連続の数学」（東京図書、2005年）、「トポロジー：柔らかな幾何学」（日本評論社、2003年）、「計算のひみつ—考え方の練習帳」（さ・え・ら書房、2004年）、「数学 想像力の科学」（岩波書店、2014年）などがある。

好評
発売中

日本の名城を訪ねよう! 「城を楽しむ」おすすめの本



城めぐり手帖

現存天守編 ~自分だけの
トラベルノート

萩原さちこ◎著

B6判 / 192ページ / 定価(本体1,280円+税)
ISBN978-4-7741-8403-6



凸凹地図で読み解く
日本の城

~この地にこの城を建てた理由

島崎晋・東京地図研究社◎著

B5判 / 128ページ / 定価(本体2,180円+税)
ISBN978-4-7741-8384-8



井沢元彦の歴史手帳2017 ~いつも歴史が楽しめる

井沢元彦◎著 特殊判型(165×86mm) / 160ページ 定価(本体1,280円+税) ISBN978-4-7741-8331-2

たしな
大人の嗜み!

酒場の正しい楽しみ方、教えます



酒場図鑑

—酒と肴をとことん楽しむために—

2016年10月4日発売

小寺賢一●著 桑山慧人●イラスト

四六判 / 176頁

定価(本体1,280円+税)

ISBN978-4-7741-8425-8

いよいよ、今年も残すところ1ヶ月あまり。12月となれば、会社にお勤めの場合は同僚と、あるいは勉強会で知り合った同業者や気心知れた趣味の仲間と忘年会という方も多いのではないのでしょうか。この時期、趣味実用書の編集部からお薦めする書籍は、お酒の席にまつわる一冊。本稿では、『酒場図鑑』の著者・小寺賢一氏に「正しい酒場めぐりの仕方」と題した記事を寄稿いただきました。少人数で訪れる二次会のお店の探し方や、一人飲み、昼呑みデビューしたい方、必読です。

酒場めぐりの醍醐味は、新たないい店との出会いにある。ただし、そんな幸運にいつも恵まれるとは限らないのも事実。そこで気をつけたいのは、あらかじめ行きたい店を数軒は決めてから出かけること。「ここは絶対行きたい」という店がないまま歩いていても時間のロスになりがちだ。まずは評判を聴いた店や、名前の知られている店に行くのもひとつの手。もちろん、そんな店ばかりではせっかくの酒場めぐりの醍醐味も半減する。

たとえばJR中央線の中野駅周辺は近年、大企業や大学の移転で昼間人口が激増し、北口・サンモール裏の飲み屋街が賑わっている。どこまで歩いても酒場が連なっているが、人気店は開店早々に満員になったり、ここだという店を見つけるのにひと苦労する。こういう人気エリアには1~2人で行くのがおススメ。3人だと混んでいて入れなくなることもあるからだ。

- さけをのむなら
- かかせない
- ばらえていゆたかに
- ずがほうふ
- かんよしひやよしよんでよし



~酒と肴をとことん楽しむために~

※『酒場図鑑』の公式Facebookページ (<https://www.facebook.com/SakabaZukan/>) を開設しています。本書では取り上げなかった原稿や、イラストのもとになった写真やエピソードなどを掲載しています。新規原稿も投稿されるかもしれませんが。本書と合わせてどうぞご覧ください。

そして酒場めぐりに慣れてきたら、「ここはいい店そうだ」と思う酒場の暖簾をひとりできぐってみよう。最初は入りにくくても、たまたま入った店がよかったりすると嬉しいものだ。これを繰り返せば、そのうち自分好みの酒場を見つける勘も養われていくだろう。

また最近では昼間から酒を飲む人が増えてきた。なかでも浅草や上野、赤羽などは昼酒の聖地とも言え、平日の明るいうちから堂々と飲める。昼下がりに飲む快感は、サラリーマンなら休日などに一度は味わってみたい。普段は行動しないエリアまでわざわざ出掛けてみるのも一興だろう。そんな酒場めぐりのノウハウをはじめ、酒&肴の頼み方、飲食法についてイラストとともに解説する『酒場図鑑』を手にとっていただければ幸いです。

↓↓↓『酒場図鑑』と併せて読みたい一冊

大人の自由時間 mini うまい日本酒を知る、選ぶ、もっと楽しむ



~酒達人が教える、知って飲んで通になる本

『酒場図鑑』2章「酒を飲む、呑む」では、日本酒の種類や味わい方、飲み方の流儀に触れています。もっと詳しく日本酒を知りたい方にお薦め。銘酒居酒屋での酒選びが楽しくなります。

飲食店日本酒提供者協会●監修

2016年4月14日発売

B6判 / 160頁 / 定価(本体1,280円+税)

ISBN978-4-7741-8073-1

大人の自由時間 男の一生モノと暮らす



~器皿と料理道具~

『酒場図鑑』では、家呑みのための居酒屋料理レシピや調理機器、酒器についても言及。自宅で燗製をつくれる土鍋など、酒場の味を楽しむための器皿、道具についてはこちらを。

左古文男、児玉勲●著 小島真也●撮影

一陽楽舎●編

2016年6月2日発売

B5変形判 / 96頁 / 定価(本体1,680円+税)

ISBN978-4-7741-8178-3

大人の自由時間 mini 街あるき ぶらりスナップ散歩



~オールドレンズで愉しむ 気ままな下町探訪

いい酒場のある裏路地は、昭和テイストでフオジェニック。散歩カメラとぶらり、休日の昼呑みに出かけるのもGOOD。居酒屋のつまみを美味しく撮る記事も掲載されています。

一陽楽舎●編・著

2015年9月18日発売

B6判 / 144頁 / 定価(本体1,280円+税)

ISBN978-4-7741-7581-2